

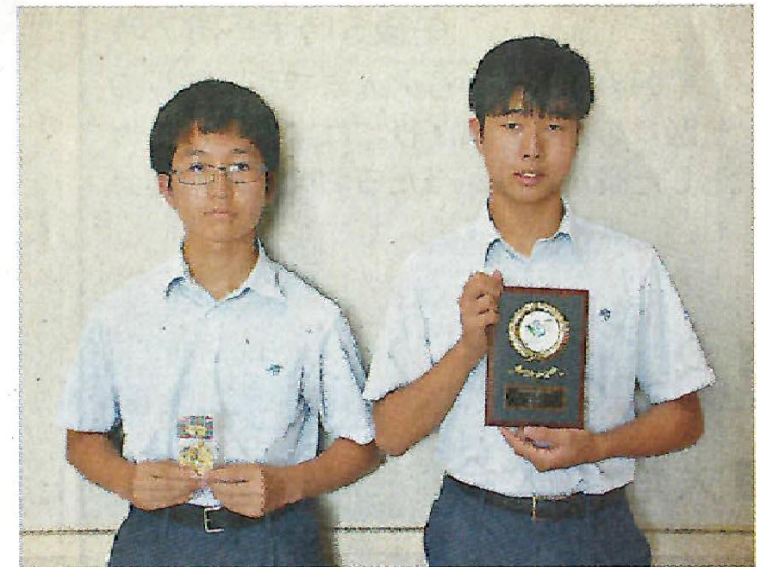
出場選手が総合3位と特別賞

かがわ総文祭ロボット部門に出場

OIDE 長姫高

7月30、31日に香川県高松市で開かれた第49回全国高校総合文化祭「かがわ総文祭2025」のロボット部門に、飯田OIDE長姫高校電気部マイコンクラスの2人が出場した。電気電子工学科の後藤桔梗さん(3年)が総合3位、電子機械工学科の増田陽さん(3年)が審査員特別賞を受賞する活躍をみせた。

決められたコースを走行させタイムを競う「ノーマル」決



ロボット部門に出場した後藤さん(右)と増田さん

められたコースを規定のタイムで走行する「ジャストタイム」、直線コースなどを疾走する「ドラッグ」の3競技があり、総合ポイントで順位を競った。

後藤さんは予選を1位で通過し決勝に進んだが、惜しくも3位に終わった。悔しさを口にし、「大会

中にマシンの調整や修正を的確に行わなければいけない。その課題が見つかった。今後大会があるのだから準備したい」と前を向いた。

予選4位だった増田さんは規定(決勝は原則各校1人)により決勝には進めなかったものの、総合

力が評価され審査員特別賞を受賞した。「全てにおいて少し準備不足のまま臨んでしまった」と悔しさをのそかせたが、「自信になったので次に生かしたい」と話した。

今後の大会は10月4日に「ROBOCON IN 信州」、11月8、9日には全国大会へつながる「ジャパンマイコンカーラリー北信越大会」が開かれる。

ロボット部門は信州総文祭以来7年ぶりの開催。信州総文祭では同校が運営校として携わった。

顧問の小松暉敬教諭は「これからもロボット部門が受け継がれて行ってほしいという思いをつなげたと思う」と大会を振り返った。